

5 車との上手なつきあいかた

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車との上手な
つきあいかた万
一のときサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

快適ドライブのために.....	5-2
雨の日の快適ドライブ	5-2
夏の快適ドライブ	5-3
寒冷時の取り扱い	5-4
タイヤチェーンについて	5-8
お手入れのしかた.....	5-10
GT-R EGOISTのお手入れ	5-10
外装のお手入れ	5-10
内装のお手入れ	5-14
カーボン製部品のお手入れ	5-16
その他のお手入れ	5-17
タイヤについて	5-20
ブレーキについて（NCCBパッケージ装着車を除く）…	5-26
NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）について…	5-28

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウィンドーガラス

エアコンで除湿します。
エアコンの吹き出し口を🌀にして、
吸い込み口は外気導入にします。
冬でもエアコンを活用してください。

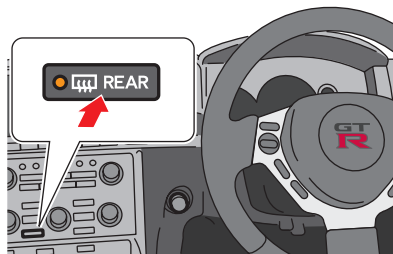
🔍窓ガラスのくもりの取りかた…別冊

📖 知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

リヤウィンドーガラス

リヤウィンドーデフォグースイッチ (🔵P.3-55) を使い、くもりを取ってください。



GSD0001

■ガラスが油膜でガラガラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

🚗 アドバイス

- 油膜があると、ワイパー作動時に音がしたり、雨の夜などは対向車の光が乱反射することがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

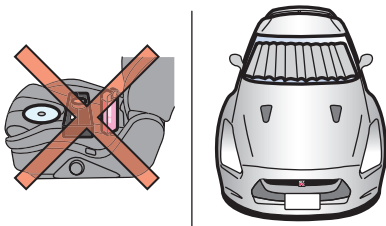
🔵オーバーヒートしたときは…P.6-8

🚗 アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなるときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

- シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



GSD0002

- 夏の炎天下などで長時間駐車すると、リヤスポイラー中央の表面付近に若干の歪みが生じる場合がありますが、表面の温度が下がると歪みは元に戻ります。

🔵これらの現象は異常ではありません
…P.1-32

⚠ 警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装
備
の
た
か
いつ
車
と
の
上
手
な
あ
い
か
た
な万
一
の
と
きサ
ー
ビ
ス
デ
ー
タさ
く
い
ん

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。


アドバイス

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない


〈NCCB/パッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。

そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。

ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については、GT-R 特別項目P.1-33をお読みください。


〈NCCB/パッケージ装着車〉

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) *が濡れたまま長時間放置しない …P.1-31をお読みください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■バッテリー液の点検、補給

- メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約-15℃
50%	約-35℃


冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）を使用してください。

- サービスデータ（冷却水）…P.7-3

アドバイス

- 凍結防止仕様車は工場出荷時に50%にしています。
- 冷却水の点検・補充・交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■冬用タイヤの準備

- 外気温が-20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。交換するときは、4輪とも必ず指定のタイヤに交換してください。（P.5-20）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

🔍ウオッシャー液の補給…P.5-17



注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、窓ガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。



注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。



アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。



警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき


アドバイス

トランスミッションは効率向上や高G化での信頼性確保のため、ドライサンプ潤滑システムを採用しています。

低温時のオイルの粘度が高いときにはオイルがいき渡るまでの時間が長くなります。

そのため、トランスミッション油温が低いとき（約40℃以下）は、急加速やエンジンを高回転（4,000rpm以上）にして走行しないでください。

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
-  タイヤチェーンについて…P.5-8
- 雪道を走行するときは、セットアップスイッチをSAVEモードに切り替えてください。

知識

- SAVEモードに切り替えることで、雪道や滑りやすい路面に合ったエンジン出力に制限し、発進や加速がしやすくなります。

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、低速走行でブレーキペダルを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。
- リヤフォグランプに雪が積もることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- シフトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームをを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 寒冷時にブレーキシステムに水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については以下をお読みください。
 ●NCCBパッケージ装着車…P.1-31
 ●NCCBパッケージ装着車を除く…P.1-33


雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。


アドバイス

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCB/パッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については、GT-R 特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCB/パッケージ装着車〉

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) ★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。
- 高圧（コイン）洗車機で下回りを洗車するときはトランスミッション周辺部に直接水をかけないでください。トランスミッションに水が入ると故障の原因となります。
またエンジン回転中はプロペラシャフトが回転していて危険なため、洗車中はエンジンを止めてください。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。
- お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
- 外気温が-20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。



注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- パンク時は、タイヤチェーンを装着しないでください。
- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WDシステムに無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

室内
装
備
の
使
い
か
た

車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た

万
一
の
と
き

サー
ビス
デー
タ

さ
く
い
ん

お手入れのしかた

GT-R EGOISTのお手入れ

- GT-R EGOISTのお手入れについてはP.1-40をお読みください。

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や直射日光の当たらない屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
 - ・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールドタールなどが付着したとき。
 - ・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
 - ・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

- ①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
 - ・汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③水滴が残らないようにふき取ります。



警告

- この車両はエンジン回転中、エンジンからトランスミッションに動力を伝えるプロペラシャフトが常時回転しています。車両の下にもぐりこむなどした場合、重大な障害につながるおそれがあり危険です。



注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

🚗 アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面などを傷つけるおそれがあります。

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
- そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
- ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については、🔵GT-R 特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) *が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

■洗車機を使うとき

自動洗車機での洗車はしないでください。

リヤスポイラーを破損するおそれがあります。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

🚗 アドバイス

- 窓ガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が浸入するおそれがあります。
 - 高圧（コイン）洗車機で下回りを洗車するときはトランスミッション周辺部に直接水をかけないでください。トランスミッションに水が入ると故障の原因となります。
- またエンジン回転中はプロペラシャフトが回転していて危険なため、洗車中はエンジンを止めてください。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内が
かた備の

つ車との
きあの上
いかな

万
一の
とき

サー
ビス
デー
タ

さ
く
い
ん

アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。
- ※詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - ・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
 - ・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。(体温以下が目安)
 - ・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
 - ・硬いブラシやコンパウンド(研磨剤)の入った洗剤などは使わない。
- ホイールコートやクリーナーなどを使用するときは、ブレーキローターやブレーキパッドなどに付着しないように注意して使用してください。

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。定期的に強めのブレーキをかけることで、固着低減の効果が得られます。また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については、●GT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) *が濡れたまま長時間放置しない
…P.1-31をお読みください。

知識

- この車両は、高性能ブレーキを採用しているため、ブレーキパッドの材質の特性上、従来の車よりブレーキダストによる汚れが多く出る場合があります。ブレーキダストなどの汚れの付着を防ぐようにホイールコートをおすすめいたします。
- ※詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

GT-R 機能・性能・しくみ

- この車両は、工場出荷前にエンジン、トランスミッション、クラッチの合わせ込み走行を実施しているため、アルミロードホイールに軽微な傷や汚れがつく場合があります。
- ハイパーブルーブラッククロームカラーコートホイール及びブルースウォードクロームカラーコートホイール付車は、独特な色合いを出すため、特殊な塗装をしています。そのため、保管状態によっては新車時より黒く変色する場合があります。1輪だけロードホイールを交換するときなど、色が合わない場合があります。ロードホイールを交換するときはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- ガラス本体及びガラス・ドア周辺のゴムや樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ガラスの昇降作動や、視界不良を起こしたり、ムラになる場合があります。
- カーボン部品には、絶対にワックスを使用しないでください。劣化や腐食の原因となります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
日産純正タッチアップペイントをおすすめします。詳しくはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

目次

△ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内装備の

つ車との上手な

万のとき

サービスデータ

さくいん

内装のお手入れ

⚠ 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

🚗 アドバイス

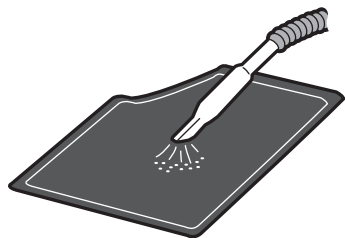
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

🔗フロアカーペット…P.4-9



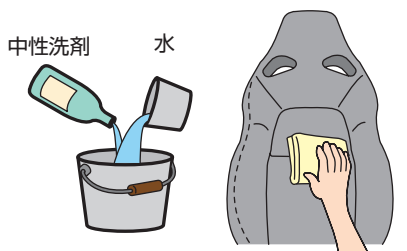
GSD0003

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーで汚れを落としてください。

市販のクリーナーをご使用になった場合、ひび割れや色落ちの原因となる場合があります。



GSD0004

本革シート、シフトレバー、パドルシフトのお手入れ

●GT-R EGOISTのお手入れについてはP.1-40をお読みください。

■通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

- ①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
市販のクリーナーをご使用になった場合、ひび割れや色落ちの原因となる場合があります。

窓ガラスの清掃

- 窓ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

モニターのお手入れ

電源ポジションをOFFにし、乾いた柔らかい布でふきます。
汚れがひどいときは、中性洗剤を少し含ませて（水滴が付かない程度）ふきます。

アドバイス

- 硬い布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。傷がついたり、変質したりします。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入りこむと故障する原因になります。

知識

- モニターに内蔵している小型蛍光灯は消耗品です。画面が極端に暗くなったり、ちらつきが出たときは交換が必要です。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

目次


警告

走行する前に

走行するとき

使室内
い装
かた
た備
の車と
の
上
手
な
た
な万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

カーボン製部品のお手入れ

- GT-Rのカーボン製部品（内装パネル、リヤディフューザーなど）は、全てレーシングカーと同様のコンポジット製法で作られております。また、素材の感触を演出するため、特殊な塗装が施されています。したがって、GT-Rの全てのカーボン製部品にはワックスやコーティング剤、コンパウンド剤など全てのケミカル製品の使用を禁止します。お手入れが必要な場合は台所用中性洗剤をバケツ満杯の水に洗剤キャップ1杯程度に薄め使用してください。

アドバイス

- カーボン製部品の材質上、経年劣化により黄色く変色する場合があります。特に直射日光は変色や変質の原因になります。日よけに心がけてください。

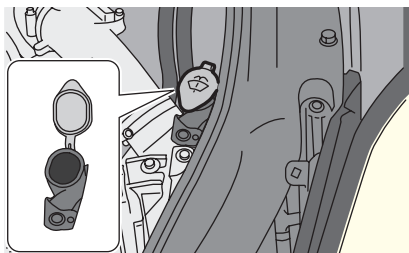
知識

- リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸があります。

その他のお手入れ

ウォッシャー液の補給

- ウォッシャー液が少なくなると、車両情報ディスプレイに警告表示 (P.3-32) します。
警告表示されたときは早めに補給してください。
- ウォッシャータンクのキャップを外し、ウォッシャー液を補給してください。ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合 (濃度) にして補給します。
- ウォッシャー液は日産純正ウインドーウォッシャー液をおすすめします。
- ウォッシャータンク容量…P.7-3



GSD0006

⚠ 注意

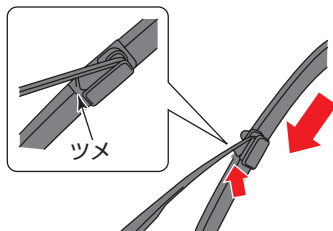
- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。発火するおそれがあります。

 アドバイス

- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

ワイパーブレードの交換

- ①ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
- ②ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。



GSD0007

- 3 ブレードをアームから取り外します。
- 4 新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠ 注意

- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。



アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車の上
の上手な
つきあい
かた

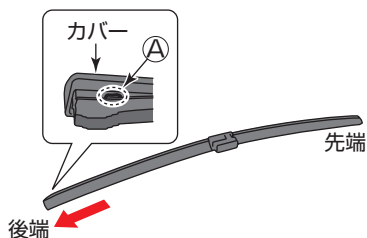
万
一
の
と
き

サービスデータ

さくいん

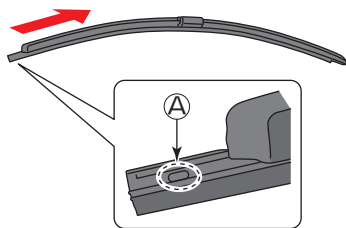
ワイパーゴムの交換

- ①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
- ②ワイパーゴムをA部（後端）側からカバーをめくるようにして矢印方向にスライドし、取り外します。



GSD0008

- ③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ワイパーゴムのA部がない側からブレードに沿って差し込み、ブレードのツメをA部に入れて固定します。



GSD0009

🚗 アドバイス

- ワイパーゴムを取り外すときは、カバーを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると切れるおそれがあります。

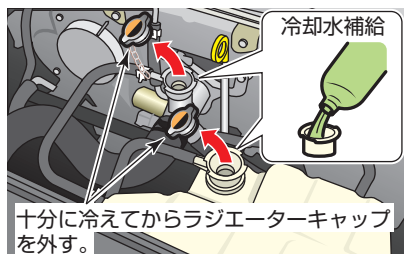


知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

冷却水の補給

- 冷却水が不足しているときは、2つのラジエーターキャップ（エンジン側と加圧式ラジエーターリザーバートank側）を外し、冷却水を補給してください。
冷却水位を加圧式ラジエーターリザーバートankのMAX-MINの中間に調整してください。
- 補給後はしっかりキャップを閉めてください。



GSD0013

🚗 アドバイス

- この車両はエンジン側と加圧式ラジエーターリザーバートank側にラジエーターキャップがあります。取り付け位置を間違えないでください。また、この車両指定以外のラジエーターキャップは使用しないでください。取り付け位置を間違えたり、指定以外のキャップを使用すると、冷却性能が下がりオーバーヒートの原因となります。
- 応急的に水だけを補給したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

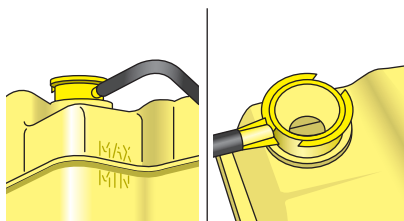
スポーツ走行をするとき

- 冷却水の循環量不足によるオーバーヒートや入れ過ぎによる内圧上昇に伴う冷却水漏れなどの原因になるため、以下のことを確認してください。
- ・ 冷却水の水位を加圧式ラジエーターリザーバータンクのMAX-MINの中間に調整してください。
このとき、MAX以上に入れ過ぎないでください。
- ・ 凍結防止仕様車はエンジンクーラント濃度を30%に下げることが推奨します。

🔧GT-R特別項目…P.1-23

冷却水量の確認のしかた

- 加圧式ラジエーターリザーバータンクの外側から水位を確認します。
MAX-MINの中間位置が確認しづらいときはラジエーターキャップを外し、補給口から覗いて加圧式ラジエーターリザーバータンクの上部と下部の境目まで水位があることを確認します。



GSD0012

- 冷却水は日産純正スーパーロングライフクーラントを使用してください。

警告

- 冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。
十分に温度が下がっていない状態でラジエーターキャップを取り外すと蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内
内装
の
整備

車
と
の
上
手
な
あ
い
か
た

万
一
の
と
き

サー
ビス
デー
タ

さ
く
い
ん

タイヤについて

この車両は、パンク時でも制限された速度と距離まで走行することができるランフラットタイヤを装着しています。

また、タイヤ空気圧警報システムが装備されており、タイヤの内圧の低下や、パンクしたときは、メーター内に警告表示します。警告表示にしたがって処置してください。

マルチファンクションディスプレイで各4輪のタイヤの内圧を確認することができます。

●警告表示…P.3-30、3-31

●パンクしたときは…P.6-29

●マルチファンクションディスプレイ…別冊

GT-R 機能・性能・しくみ

GT-R専用タイヤ

GT-R専用設計のタイヤが装備されています。あらゆる走行環境を想定し、車両に合った、最適なタイヤとロードホイールが装備されています。

そのため、専用タイヤ以外のタイヤ及びロードホイールは装備しないでください。GT-Rの本来の性能を発揮することができなくなるばかりでなく、故障や破損の原因につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- この車両の指定タイヤを必ず指定ホイールとセットで使用してください。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、必ず定期点検を受けてください。点検についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へご相談ください。
- 気温変化や高度変化によりタイヤの内圧は変化します。タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。月に一度はタイヤエアゲージを使用し、タイヤ内圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、タイヤ内圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性が損なわれたり故障の原因になります。

タイヤ交換について

- タイヤ交換するときは、4輪とも同時に行うことをおすすめします。
- GT-R専用純正タイヤはランフラット構造を採用しており、サイドウォールが非常に硬いため、タイヤ交換には特殊な技術と設備が必要です。タイヤ交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にて実施してください。
- 一度ロードホイールから外したタイヤを再度ロードホイールに組み付ける場合、レバーレスオートマチックタイプなどのタイヤチェンジャーを使用し、且つタイヤビード部に亀裂・変形がない場合に限り再使用することができます。レバータイプのタイヤチェンジャーを使用すると、タイヤビード部に亀裂・変形が生じる場合があるため、再使用できません。外観に異常がなくても、再使用すると安全性が損なわれたり事故の原因になるおそれがあります。タイヤの再使用については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- 外気温が-20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。
- バルブキャップは工具を使わず手で確実に締めてください。工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

■タイヤ交換について

- この車両専用に設計されたランフラットタイヤ及びロードホイールを装着しています。タイヤを交換する場合は、必ず指定のタイヤ及びロードホイールを装着し、4輪とも同時に行うことをおすすめします。交換についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
 ●GT-R特別項目…P.1-2 ●サービスデータ…P.7-4、7-5
- タイヤ空気圧センサー（●P.5-24）の電池を交換するときに外したタイヤは、再使用できない場合もあります。また、センサーの電池は電池単品での交換はできないため、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
- 逆輸入タイヤでもタイヤ交換は可能ですが、タイヤに起因する不具合に関しては保証の対象になりません。（右ハンドル車用と左ハンドル車用では、タイヤ特性が異なります。また、タイヤの長期在庫保存の影響で性能が劣化しているおそれがあります。）

⚠ 注意

- 指定以外のタイヤ及びロードホイールは取り付けしないでください。不適合なタイヤ及びロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 指定以外のタイヤは装着しないでください。車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCが正常に作動しないことがあります。
 次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
 - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
 - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- パンク修理剤は使用しないでください。タイヤ空気圧警報システムが故障する原因になります。
 ●タイヤ空気圧警報システム…P.5-24

🚗 アドバイス

- 高速走行での高い直進安定性やスポーツ走行での高いコーナリング性能を発揮するようにホイールアライメントを設定しています。
 そのため、日常走行を主に使用した場合、タイヤの摩耗が不均一になることがあります。異常ではありません。
 ●GT-R特別項目…P.1-32
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。

📖 知識

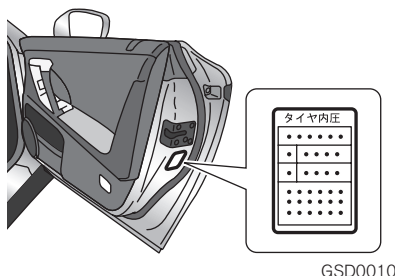
- この車両は前輪と後輪のタイヤサイズが異なるため、絶対に前後輪を逆に取り付けしないでください。
- タイヤ空気圧センサーのシールゴム、コア、キャップはスポーツ走行をする場合は3年以内に交換してください。スポーツ走行をしない場合でも、5年以内に交換してください。シールゴムが汚れると、タイヤのエア漏れの原因となります。

ホイールにタイヤを組み付けた直後はスポーツ走行など行わない

タイヤ交換直後に急発進・急ブレーキなどを行うと、タイヤとホイールのなじみが不十分なため、回転方向合わせ位置にずれが生じることがあります。特にタイヤ交換から2日間は、スポーツ走行などのタイヤに大きな負荷がかかる走行を行わないでください。

■タイヤ内圧の点検

- タイヤの内圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検してください。また、この車両は高剛性ランフラットタイヤを採用しているため、たわみではわかりにくいのでタイヤエアゲージで点検してください。
- タイヤ内圧が不足しているときは、すみやかに調整してください。
- この車両は窒素ガスが充填されています。窒素ガスの充填については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- 気温変化や高度変化よりタイヤの内圧は変化します。
タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。月に一度はタイヤエアゲージを使用し、タイヤ内圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ内圧は走行に伴い高くなることがあります。
- 高速走行やスポーツ走行時など、タイヤ温度が高くなったときに、前後のタイヤ剛性バランスをより均等にするために、タイヤ内圧を以下のように調整してください。
 - ・走行スタート時（タイヤが冷えているとき）
前輪 210～220kPa 後輪 200kPa
 - ・タイヤ内圧上昇時（タイヤが温まっているとき）
前輪 270kPa 後輪 260kPaを超えないように調整してください。
- タイヤの内圧は運転席ドア開口部に表示及び巻末のサービスデータに記載してあります。



GSD0010

⚠ 注意

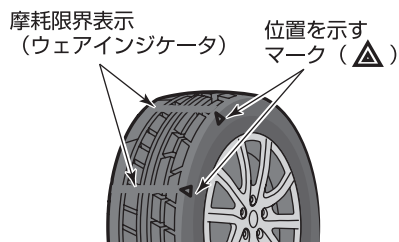
- タイヤの内圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

この車両は前輪と後輪でタイヤサイズが異なるため、タイヤの前後位置交換は絶対に行わないでください。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。





GSD0015

タイヤ空気圧警報システム

この車両にはタイヤ空気圧警報システムが装備されています。


ロードホイールに設置された空気圧センサーで、それぞれのタイヤ内圧を確認しています。

- タイヤの内圧が低下したりパンク、システム異常の場合、タイヤ空気圧センサーからの情報でタイヤ空気圧警告灯（P.3-17）が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-30、3-31）します。また、パンクの場合は、タイヤ空気圧警告灯の点灯及び車両情報ディスプレイの警告表示と合わせて警報が鳴ります。

より高いタイヤ内圧で走行していただくために、2011年モデルまでのGT-Rに比べタイヤ空気圧警告灯の点灯タイミングを早めています。（夏冬の気候差に伴うタイヤ内圧の変化に対しても、より素早くお知らせすることが可能です。）

車体番号（資料番号）	警告灯点灯タイミング
2007～2011年モデルまで 車体番号：R35-000001～、R35-020001～ R35-030001～、R35-430001～ （OWNER'S MANUAL資料番号：R35-05以前）	160kPa以下で点灯
2012年モデル以降 車体番号：R35-040001～、R35-440001～ （OWNER'S MANUAL資料番号：R35-06以降）	180kPa以下で点灯


タイヤ空気圧警告灯が点灯し警告表示が出た場合は、メーター内の警告表示に従い処置してください。

パンクしたときは…P.6-29

- 気温変化や高度変化によりタイヤの内圧が減少し、タイヤ空気圧警報システムが作動する場合があります。

タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの内圧を点検してください。

タイヤの内圧を点検する…P.1-24

- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しています。電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示します。タイヤ空気圧センサーの電池を交換するときに外したタイヤは、再使用できない場合もあります。また、センサーの電池は電池単品での交換はできないため、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
- 本システムは、時速25km/h以上で走行した場合に作動します。
- タイヤの内圧低下で警告表示したときは内圧を調整後、時速25km/h以上で走行すると作動します。

⚠ 注意

- 警告灯が点灯及び警告表示したときは、すみやかに安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- パンク修理剤は使用しないでください。タイヤ空気圧警報システムが故障する原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤやロードホイールを交換する場合は、この車両専用のタイヤ及びロードホイールに必ず交換してください。システムが正常に作動しなくなります。
- GT-R専用ロードホイールであっても、他車や交換用のロードホイール（GT-R専用冬用タイヤが装着されたロードホイールなど）を装着するときは、タイヤ空気圧センサーのリセットが必要です。
センサーのリセットはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場だけでなく、日産販売会社でも行うことができます。
- GT-R特別項目…P.1-2
- タイヤの内圧が高すぎる場合は警告表示しません。
- バーストや急激な内圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しないことがあります。
- 寒冷時などでの温度変化や、自然にタイヤの内圧が低下した場合もタイヤ空気圧警告灯（🔴P.3-17）が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示（🔴P.3-30、3-31）します。
タイヤを点検し異常がない場合は、内圧を調整してください。規定値に調整し、走行後警告灯及び警告表示が消灯すれば正常です。
- タイヤ空気圧警報システムは大変便利なシステムですが、使用環境や走行条件によっては正しく作動しない場合があります。

以下の場合、タイヤ空気圧センサーが車両と通信できないため作動しません。

- ・ この車両の指定の空気圧センサーが搭載されていない場合。
- ・ 空気圧センサーの電池が切れた場合。
- ・ 空気圧センサーのリセットを行わずに他車のGT-Rのロードホイールを装着した場合、又はGT-R専用以外のロードホイールを装着した場合。
- ・ タイヤチェーンを装着した場合。
- ・ 車両、特にホイールハウス内に雪が多く付いた場合。

以下の場合、電波の障害を受けるため正しく作動しない場合があります。

- ・ 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
- ・ 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき。
- ・ 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。
- ・ パソコンなどの電化製品が車内にあるとき。
- ・ 近くに本システムと同じような周波数を使っている施設、器具がある場合又は地域。
- ・ 同じような周波数を使った無線機や器具を使用している場合。
- ・ 電子情報機器を車内で使用している場合。

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

使室内が装備の

つ車との上か手たな

万のとき

サービスデータ

さくいん

ブレーキについて（NCCBパッケージ装着車を除く）

この車両には幅広い走行環境でも安定した制動力を確保することができる高性能ブレーキパッドが装備されています。ブレーキパッドの材質上、ロードホイールがブレーキダストにより汚れやすい場合がありますが、異常ではありません。ブレーキダストなどの汚れの付着を付きににくくするホイールコートをおすすめいたします。

- ホイールコートやクリーナーなどを使用するときは、ブレーキローターやブレーキパッドなどに付着しないように注意して使用してください。
- 鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しているため、ブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。定期的に強めのブレーキをかけることで、固着低減の効果が得られます。

ブレーキパッド新品時から約2mm減るまで（目安として約5,000～10,000km走行程度）は長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については、GT-R特別項目P.1-33をお読みください。

異音や振動が続くときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

- スポーツ走行を中心とした走行が続くとブレーキパッドの焼け具合により摩耗限度になっていないくても、交換が必要になる場合があります。定期点検でブレーキパッドやディスクローターの点検を受けてください。

詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■ブレーキパッド及びディスクローターの交換

- 強力な停止性能と高温での耐フェード性能向上を得るために、ほぼレーススペックのブレーキ仕様となっています。安全にご使用いただくために、部品交換については必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。

ブレーキパッドとディスクローターの交換に関して

- 原則としてブレーキパッドのみ4輪セット交換が必要になりますが、GT-R認定T/Sがブレーキパッドとディスクローターをセットで交換が必要と判断した場合は、ブレーキパッドとディスクローターを4輪セットで交換してください。

ディスクローター交換が必要な場合

- 同一のディスクローターに対して2度目のブレーキパッド交換を行う場合
- ディスクローター表面に亀裂（特に冷却孔部4mm以上など）があり交換基準に達していた場合
- ディスクローター表面の反りや荒れ、深さ0.2mm以上のレコード溝などが発生し、交換基準に達していた場合
- 制動時にブレーキジャダーが発生している場合など

前輪ブレーキパッドのみの交換に関して

- サーキットでの走行履歴がなく、前輪ブレーキパッドのみ著しく摩耗している場合に限り、GT-R認定T/Sの判断により前輪ブレーキパッドのみの交換が可能になる場合があります。

なお、指示通りの交換をしない場合、制動力バランスが変わり、ABS・VDCの性能が保証できません。

🔵GT-R特別項目…P.1-12

GT-R 機能・性能・しくみ

高性能ブレーキシステム

- 従来のブレーキに対して穴あきフローティング構造のブレーキディスクローターとモノブロック対向6ポッドキャリパーを採用しています。強力な停止性能と高温での耐フェード性能向上を得るために、ほぼレーススペックとなっています。
- この車両の高性能ブレーキシステムは、超高温領域から雪道のような低温領域までの幅広い走行環境で安定した制動性能を確保するために、ブレーキパッドとブレーキキャリパーの間のすき間を通常より若干大きく設定しており、また、ブレーキパッドも大型であるため、タイヤが段差を乗り越えるときにブレーキパッド周辺から軽度の“カタカタ音”がする場合がありますが異常ではありません。また、高温でも高い制動力を発揮できる材質を採用しているため、まれに“キー”という音が出ますが、摩耗と時間経過とともに音は減少します。

NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) ★について

GT-R 機能・性能・しくみ

NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake)

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) はカーボンセラミック製ブレーキディスクローターを採用した高性能ブレーキシステムです。

通常走行においては非常に高い耐久性を持ち、また、非常に軽量なためバネ下荷重が低減されることで路面への追従性が向上します。

- スポーツ走行やブレーキを酷使するような走行をすると、ブレーキパッドの摩耗や高温の摩擦熱によりブレーキディスクローター内部の組成状態が変化することによって外観上問題が無くても交換が必要場合があります。

カーボンセラミック製のブレーキディスクローターの外観や厚さは摩耗のレベルを示す基準にはなりません。

- カーボンセラミック製のブレーキディスクローターは非常に硬度が高く、強い衝撃には注意が必要です。
- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) は標準装備のブレーキと同様のフルフローティング構造を採用しているため、使用状況によってはディスクローターのフルフローティング締結部などに錆が発生する場合があります。ブレーキディスクローターのフルフローティング締結部に錆が発生した場合は、すみやかにNHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

GT-R 機能・性能・しくみ

- GT-R専用のNCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) は、GT-Rに採用しているブレーキディスクローターやブレーキパッドと材質が異なるため、鉄分が錆びてブレーキディスクローターとブレーキパッドが固着することはありません。

ただし、ブレーキディスクローターやブレーキパッドを長く使用していただくため、カーボンセラミックローターの材料組成への影響や、ブレーキディスクローターのフルフローティング締結部の劣化防止のため、ブレーキシステムが濡れたままでの長期間駐車はしないでください。

特に冬場、凍結温度以下になる場合、ブレーキディスクローターとパッドが凍結破損することを防止するため、必ず乾かした状態で駐車してください。

(本カーボンセラミック製ブレーキは、ローター及びパッド内部にその構造上、気泡空間があるため、水を含んだままにしておくと凍結固着が発生しやすいのでご注意ください。)

警告

- 車両の下回りに衝撃が加わったときや、ブレーキディスクローターに割れや、欠けがある場合は、直ちにNHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場ですべて点検を受けてください。ブレーキディスクローターが破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキディスクローターにブレーキクリーナーやケミカル剤を使用しないでください。ブレーキディスクローターの耐久性低下につながる場合があります。
- 緊急避難路のような小石が敷き詰められている路面を走行したときは、ブレーキディスクローターに損傷が無いがNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
- カーボンセラミック製のブレーキディスクローターは非常に硬度が高く、強い衝撃には注意が必要です。タイヤを取り外すときなどはブレーキディスクローターに干渉しないよう、注意して取り外してください。

■ブレーキパッド、ブレーキディスクローターの交換

- ブレーキパッドとブレーキディスクローターの交換は共に4輪セットの交換を推奨します。

ただし、質量計測及び傷や割れの確認をGT-R認定T/Sが実施した結果、ブレーキディスクローターの再使用が可能と判断した場合に限り、ブレーキパッドのみの交換が可能です。

※ブレーキパッドのみの交換条件

- ・フロントブレーキパッド交換時：フロントブレーキパッドのみ交換可能
- ・リヤブレーキパッド交換時：フロントとリヤブレーキパッドを必ずセットで交換
- スポーツ走行をした後は、必ずNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場ですポーツ点検を受けてください。ブレーキパッドの摩耗やブレーキディスクローターの耐久性低下の他、ブレーキディスクローターの材質上、特殊な放射熱が発生し、ブレーキ周辺部品の破損につながるおそれがあります。

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

 室内
内装
の
た
た
み

 車
と
の
上
手
な
つ
き
あ
い
か
た
な

万のとき

サービスデータ

さくいん

ブレーキパッド

- ブレーキ摩耗警告灯 (P.3-23)
が点灯したときは一般道走行状態 (60km/h以下) で約60kmを継続可能な走行の目安とし、すみやかにNHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検及び交換してください。継続可能な走行の目安はあくまでも目安であり、お客様のブレーキの使い方により変化します。

🔵GT-R特別項目…P.1-2

ブレーキディスクローター

- 以下の場合には直ちにブレーキディスクローター交換が必要な可能性があります。目視点検で異常が見受けられない場合でもすみやかにNHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場ですべて点検を受けてください。
 - ・制動力が極端に悪くなったとき
 - ・ブレーキディスクローターに割れや欠けがあるとき
 - ・タイヤ及びホイール周辺に衝撃を受けたとき
 - ・ブレーキ周辺の部品が破損してブレーキディスクローターやブレーキキャリパーに接触した可能性があるとき
 - ・ブレーキパッドの交換時期を無視してブレーキパッドの金属版がブレーキディスクローター表面に接触したとき
 - ・タイヤ脱着作業中にホイールとブレーキディスクローターが干渉したとき



警告

- NCCB (Nissan Carbon Ceramic Brake) のメンテナンスについてはブレーキならしの他、特殊なメンテナンス技術や専用機器での計測・調整が必要なため、必ずNHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場で行ってください。ブレーキ性能が発揮されないばかりか、ブレーキシステムが破損し、重大な事故につながるおそれがあります。
- NHPC (SpecV取扱店) 又はNISSAN GT-R特約サービス工場ですべて点検を受けてください。この車両のブレーキディスクローターは限界に達しても性能低下が現れにくいいため、限界を超えて使用するとブレーキディスクローターが破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。